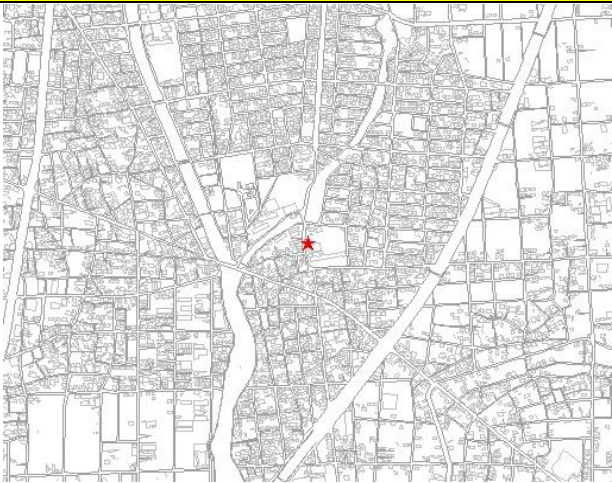


リストNo		18-033		施設コード		01689		
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫						
施設名		中央区選挙資材用倉庫(南)						
所在(町名・番地)		中央区芳川町 他						
利用者の圏域別分類等		小規模等			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設		
所管課	本庁	—			課長名	—		
	施設	中央区選挙管理委員会事務局			課長名	前野 隆典		
設置根拠(法)		—						
条例		—						
設置目的		選挙投票所に付随して設置した選挙資材用倉庫						
主な利用者		中央区選挙管理委員会事務局職員、投票事務従事職員						
運営形態		直営						
指定管理または 包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	48.00		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2002/2/1				代表地目(現況地目)		
	経過年数(主要建物)	22						
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		76	91	91
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	459	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	07-076	さなえ放課後児童会	生活		0.0	
	07-043	さなえ第2放課後児童会	生活		0.1	
	15-055	芳川小学校	生活		0.1	
	08-044	芳川幼稚園	生活		0.1	
	15-128	南陽中学校	生活		0.2	
	14-062	浜松第26分団	コミュニティ		0.3	
	26-037	参野雨水ポンプ場	—		0.4	
15-056	芳川北小学校	生活		0.8		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	18-033	施設コード	01689	所管課	本庁	—
	施設名	中央区選挙資材用倉庫(南)			施設	中央区選挙管理委員会事務局	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	公正かつ適正な選挙の実施					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		選挙投票所に付随して設置した選挙資材用倉庫					
		主な業務内容	選挙における投票事務資材を保管				
		主な利用者	中央区選挙管理委員会事務局職員、投票事務従事職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		選挙事務は定期的または臨時的に発生するためニーズは変わらない			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		選挙事務は定期的または臨時的に発生するためニーズは変わらない				
	特記事項		選挙時以外にも定期的な資材管理を行う				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
事業②		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	簡易な造りであり、経年劣化が進行しやすい。					
	対応策	定期的な巡回により施設の損傷を発見しやすくする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	それぞれの投票所ごとに設置されているため統廃合は行わない。	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	小規模な倉庫のため、耐用年数を待たず近隣施設の空きスペース等への移転を検討する。							

リストNo		18-034	施設コード		00395	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		旧南区水防倉庫				
所在(町名・番地)		中央区東町695-1				
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公用財産		その他施設	
所管課	本庁	土木部河川課			課長名	中津川 英彦
	施設	土木部河川課			課長名	中津川 英彦
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をすることにより、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。				
主な利用者		南区内の水防団員				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物 情報	総延床面積	259.84		土地 情報	土地面積	1,119.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	1,119.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2018/2/13				
	経過年数(主要建物)	6				
					代表地目(現況地目)	学校用地
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		26,917		—		26,917
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	26,917		—		26,917
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	739	189
	物件費(光熱水費)	114	100	94
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	114	839	283
行政コスト(B-A)		114	839	283
収支前年比		13.59	296.47	74.47
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,011	1,011	1,011
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	9,159	21,133	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	07-047	かわわ放課後児童会	生活		0.1	
	15-049	河輪小学校	生活		0.1	
	14-060	浜松第18分団	コミュニティ		0.2	
	15-124	東陽中学校	生活		0.7	
	03-045	南陽協働センター	生活		1.0	
	06-011	南陽図書館	地域		1.0	
	24-024	御給排水機場	—		1.3	
	14-018	南消防署芳川出張所	地域		1.4	
施設周辺地図情報						

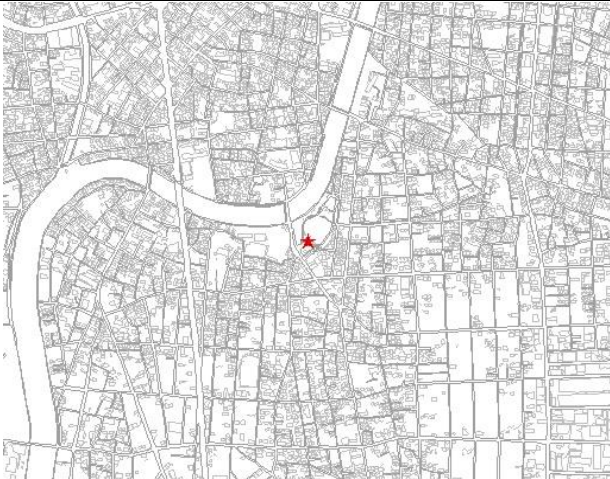
基本情報	リストNo	18-034	施設コード	00395	所管課	本庁	土木部河川課
	施設名	旧南区水防倉庫			施設	土木部河川課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	防災体制の強化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をすることにより、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。					
		主な業務内容	大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をする。				
		主な利用者	南区内の水防団員				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	台風の大規模化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会的にニーズは高まっている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となると予想される。					
	特記事項	緊急時に備え、施設の維持管理を続ける必要がある。					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
事業②		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化が進んでおり、今後も継続した維持管理が必要である。					
	対応策	施設の適正な維持、管理、修繕を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	なし						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	439	3,229	1,089	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分庫毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設等への統廃合や複合化を検討する。									

リストNo		18-035		施設コード		02179		
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫						
施設名		南地域燃料保管庫						
所在(町名・番地)		中央区楊子町						
利用者の圏域別分類等		小規模等			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設		
所管課	本庁	危機管理監危機管理課			課長名	小林 正人		
	施設	中央区・南行政センター			課長名	佐藤 一郎		
設置根拠(法)		—						
条例		—						
設置目的		浜松市指定避難所等で使用する燃料の保管						
主な利用者		中央区役所(南行政センター)職員、危機管理課職員、地区防災班員						
運営形態		直営						
指定管理または 包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	2.25		土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	コンクリートブロック造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2006/2/1						
	経過年数(主要建物)	18			代表地目(現況地目)			
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		750		—		750		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	250		—		250		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	500		—		500		
特記事項	—							



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	0	0
	収入計(A)	0	0
支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0
	物件費(借地料)	0	0
	支出計(B)	0	0
行政コスト(B-A)		0	0
収支前年比		—	—
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		24	24
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	363	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名			圏域種別	距離(km)
	18-002	北寺島倉庫			地域	1.6
その他の分類	15-105	南部中学校			生活	0.5
	26-006	東雨水ポンプ場			—	0.7
	15-009	竜禅寺小学校			生活	0.7
	08-008	南保育園			生活	0.8
	26-005	南ポンプ場			—	0.8
	08-006	寺島保育園			生活	0.9
	06-004	南図書館			地域	1.0
	03-029	南部協働センター			生活	1.0
施設周辺地図情報						
						

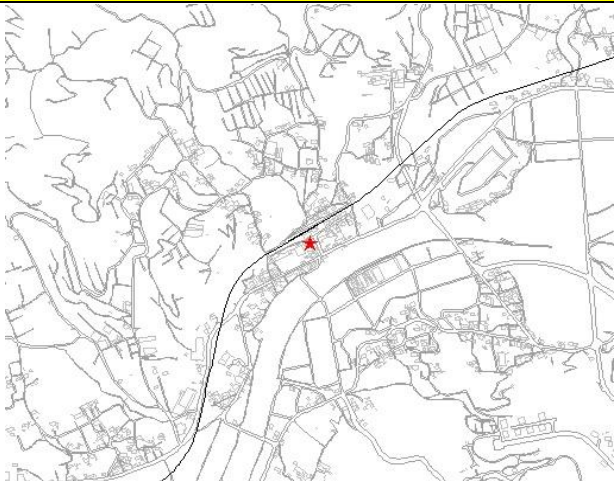
基本情報	リストNo	18-035	施設コード	02179	所管課	本庁	危機管理監危機管理課		
	施設名	南地域燃料保管庫			所管課	施設	中央区・南行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		浜松市指定避難所等で使用する燃料の保管							
		主な業務内容	備蓄燃料の搬入、搬出及び点検等						
		主な利用者	中央区役所(南行政センター)職員、危機管理課職員、地区防災班員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	東日本大震災・熊本地震・能登半島地震により防災意識は高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	南海トラフ大地震の発生が想定される							
	特記事項	地震以外にも風水害の際にも活用することがある							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
			2023	—	—	—			
2022			—	—	—				
事業①		2021	—	—	—				
		2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
事業②		2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
		2023	—	—	—				
事業③	2022	—	—	—					
	2021	—	—	—					
	2023	—	—	—					
	2022	—	—	—					
事業④	2021	—	—	—					
	2023	—	—	—					
	2022	—	—	—					
	2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	簡易な造りであり、経年劣化が進行しやすい。							
		定期的な巡回により施設の損傷を発見しやすくする。							
	対応策	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
	民生活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
		利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し		複合化	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。									

リストNo		18-036	施設コード	02613	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		北地域防災倉庫			
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀305			
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課		課長名	小林 正人
	施設	浜名区・北行政センター		課長名	堤 信弘
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		防災資機材、非常食等の保管			
主な利用者		北行政センター職員、危機管理課職員、地区防災班員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	55.29	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1998/1/1			
	経過年数(主要建物)	26		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)			
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		6,710	—	6,710	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	6,710	—	6,710	
特記事項	・建物明細(物件番号:231、242、822、932、16915)				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
	行政コスト(B-A)	0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		69	166	248
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	666	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	15-063	都田小学校	生活		0.1	
	03-051	都田協働センター	生活		0.1	
	14-066	浜松第31分団	コミュニティ		0.3	
	15-132	都田中学校	生活		0.6	
	26-026	都田地区農業集落排水処理施設	—		1.3	
	26-034	都田中継ポンプ場	—		1.4	
	17-007	都田総合公園	地域		1.6	
	24-032	吉影排水機場	—		1.7	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	18-036	施設コード	02613	所管課	本庁	危機管理監危機管理課		
	施設名	北地域防災倉庫			所管課	施設	浜名区・北行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防災資機材、非常食等の保管							
		主な業務内容	防災資機材、非常食の搬入、搬出及び点検等						
		主な利用者	北行政センター職員、危機管理課職員、地区防災班員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	大規模地震発生時の危険性があり、必要性は高い。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	大規模地震発生時の危険性があり、必要性は高い。							
	特記事項	地震のみならず、風水害発生時にも使用する。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化により修繕、建替え等が必要となる。							
	対応策	予算取りまとめ課と調整し、修繕等の対応を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。								

リストNo		18-037		施設コード		01690	
利用用途別分類（施設分類）		書庫・倉庫					
施設名		浜名区選挙資材用倉庫（北）					
所在（町名・番地）		浜名区細江町気賀305					
利用者の圏域別分類等		小規模等			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設	
所管課	本庁	—			課長名		—
	施設	浜名区選挙管理委員会事務局			課長名		金原 由直
設置根拠（法）		—					
条例		—					
設置目的		選挙時に必要な選挙資機材を格納する。					
主な利用者		浜名区選挙管理委員会（北）					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	14.00		土地情報	土地面積		0.00
	構造（主要建物）	鉄骨造			うち所有面積	0.00	
	地上階数（主要建物）	1					
	耐震性能（1g値）（主要建物）	新					
	耐震工事（主要建物）	—					
	建築年月日（主要建物）	2001/3/1					
	経過年数（主要建物）	23			うち借地面積	0.00	
		代表地目（現況地目）					
用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計	
設置事業費		1,783		—		1,783	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	1,783		—		1,783	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		28	58	60
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	169	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	08-053	中央幼稚園	生活		0.1	
	09-006	細江健康センター	地域		0.1	
	01-017	北行政センター	地域		0.1	
	03-012	みをつくし文化センター	地域		0.1	
	04-024	気賀関所	地域		0.2	
	06-015	細江図書館	地域		0.2	
	04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域		0.2	
	10-014	細江介護予防センター	地域		0.3	
施設周辺地図情報						
						

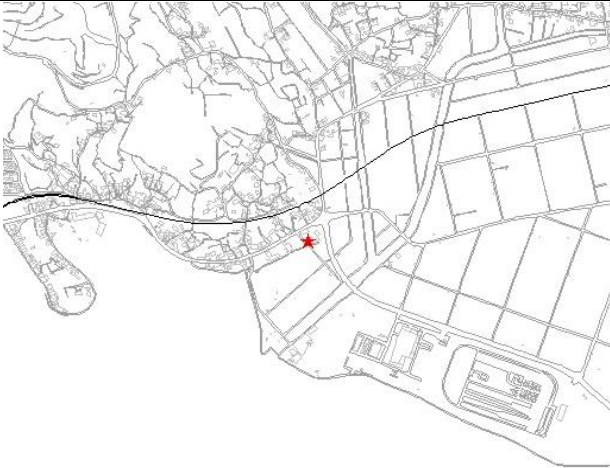
基本情報	リストNo	18-037	施設コード	01690	所管課	本庁	—
	施設名	浜名区選挙資材用倉庫(北)			施設	浜名区選挙管理委員会事務局	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	公正かつ適正な選挙の実施					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		選挙時に必要な選挙資機材を格納する。					
		主な業務内容	選挙資材の維持管理				
		主な利用者	浜名区選挙管理委員会(北)				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も定期的に一定の利用が見込まれる。					
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
—			2022	—	—	—	
—			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	選挙資材の数量に対して収納スペースが狭くなってきている。					
	対応策	バスの車庫等の空きスペースを活用する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	小規模な倉庫のため、耐用年数を待たず近隣施設の空きスペース等への移転を検討する。								

リストNo		18-038	施設コード	01811		
利用用途別分類（施設分類）		書庫・倉庫				
施設名		細江水防倉庫				
所在（町名・番地）		浜名区細江町気賀				
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設		
所管課	本庁	土木部浜名土木整備事務所		課長名	野末 昇	
	施設	土木部浜名土木整備事務所		課長名	野末 昇	
設置根拠（法）		—				
条例		—				
設置目的		水防活動時に使用する資機材を保管をすることで、市民の生命と財産を守り、安全・安心を提供することに資する。				
主な利用者		浜名区細江町内在住の市民				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	143.00	土地情報	土地面積	260.48	
	構造（主要建物）	鉄骨造		うち所有面積	200.98	
	地上階数（主要建物）	1				
	耐震性能（Is値）（主要建物）	新		うち借地面積	59.50	
	耐震工事（主要建物）	－				
	建築年月日（主要建物）	2002/4/1				
	経過年数（主要建物）	22		代表地目（現況地目）	宅地	
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）	計		
設置事業費		—	—	—		
財源	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	12	12
	収入計(A)	3	12	12
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	20	24	20
	物件費(借地利)	58	58	71
	支出計(B)	78	82	91
行政コスト(B-A)		75	70	79
収支前年比		107.14	88.61	102.60
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	5,313	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	24-039	沖通り排水機場	—		0.3	
	15-062	西気賀小学校	生活		0.8	
	08-052	西気賀幼稚園	生活		0.8	
	26-017	細江浄化センター	—		1.2	
	15-129	細江中学校	生活		1.5	
	04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域		1.6	
	10-014	細江介護予防センター	地域		1.6	
	26-021	山後雨水ポンプ場	—		1.6	
施設周辺地図情報						
						

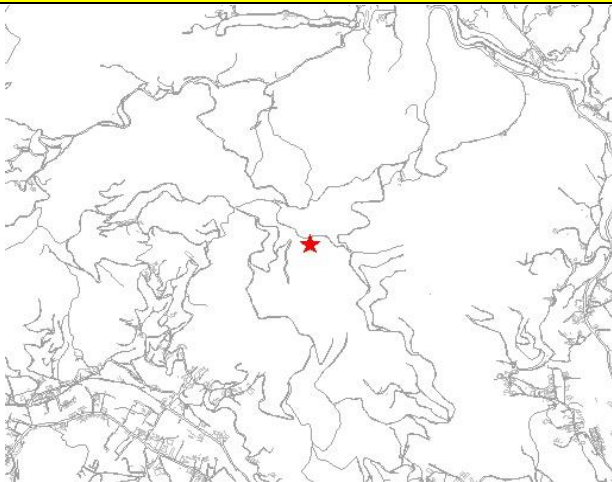
基本情報	リストNo	18-038	施設コード	01811	所管課	本庁	土木部浜名土木整備事務所		
	施設名	細江水防倉庫			施設	土木部浜名土木整備事務所			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	防災体制の強化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		水防活動時に使用する資機材を保管することで、市民の生命と財産を守り、安全・安心を提供することに資する。							
		主な業務内容	水防活動時に使用する資機材を保管をする						
		主な利用者	浜名区細江町内在住の市民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大規模化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会的にニーズは高まっている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となると予想される。						
	特記事項		緊急時に備え、施設の維持管理を続ける必要がある。						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現時点で大きな損傷等はないものの、経年劣化が進行すると推察する							
	対応策	施設の適正な維持、管理、修繕を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	なし								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	524	490	552	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設等への統廃合や複合化を検討する。									

リストNo		18-039	施設コード	00205	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		引佐防災倉庫			
所在(町名・番地)		浜名区引佐町伊平589			
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課		課長名	小林 正人
	施設	浜名区・北行政センター		課長名	堤 信弘
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		防災資機材、非常食等の保管			
主な利用者		北行政センター職員、危機管理課職員、地区防災班員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物 情報	総延床面積	125.40	土地 情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1982/3/9		代表地目(現況地目)	
	経過年数(主要建物)	42			
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		6,500	—	6,500	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	6,500	—	6,500	
特記事項	・建物明細(物件番号:4489、4490、4491、4675、4676、4677)				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		85	85	85
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	112	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	18-063	旧伊平小学校	地域		1.6	
そ の 他 の 分 類	22-005	引佐伊平診療所	生活		1.5	
	14-075	引佐第3分団伊平	コミュニティ		1.5	
	04-060	横尾歌舞伎伝承館 開明座(旧東四村農村コミュニティセンター)	コミュニティ		1.7	
	08-046	伊平幼稚園	生活		1.7	
	13-048	伊平団地特定公共賃貸住宅	地域		1.7	
	14-073	引佐第1分団横尾	コミュニティ		1.8	
	05-018	引佐総合体育館	地域		1.8	
16-010	引佐学校給食センター	地域		1.9		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	18-039	施設コード	00205	所管課	本庁	危機管理監危機管理課		
	施設名	引佐防災倉庫			所管課	施設	浜名区・北行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防災資機材、非常食等の保管							
		主な業務内容	防災資機材、非常食の搬入、搬出及び点検等						
		主な利用者	北行政センター職員、危機管理課職員、地区防災班員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	大規模地震発生危険性があり、必要性は高い。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	大規模地震発生危険性があり、必要性は高い。						
	特記事項	地震のみならず、風水害発生時にも使用する。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化により修繕、建替え等が必要となる。							
	対応策	予算取りまとめ課と調整し、修繕等の対応を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。							

リストNo		18-040	施設コード	01370	
利用用途別分類（施設分類）		書庫・倉庫			
施設名		上町地区防災倉庫			
所在（町名・番地）		浜名区細江町気賀572-4			
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域	
財産区分		行政財産		公用財産	
				その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課		課長名	小林 正人
	施設	浜名区・北行政センター		課長名	堤 信弘
設置根拠（法）		—			
条例		—			
設置目的		広域防災倉庫として、半径4km範囲程度の避難所の防災倉庫に入りきらない資機材や備蓄品の保管			
主な利用者		北行政センター職員、危機管理課職員、地区防災班員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	130.46	土地情報	土地面積	114.03
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	114.03
	地上階数（主要建物）	2			
	耐震性能（1g値）（主要建物）	新			
	耐震工事（主要建物）	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日（主要建物）	1984/10/1			
	経過年数（主要建物）	39		代表地目（現況地目）	宅地
用途地域		第二種住居地域			
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）	計	
設置事業費		11,903	—	11,903	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	11,903	—	11,903	
特記事項	・建物明細（物件番号：4446、4447）				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	5	5	5
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	5	5	5
行政コスト(B-A)		5	5	5
収支前年比		100.00	100.00	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	16	432
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	2,970	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	15-067	気賀小学校	生活		0.2	
	04-021	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館	地域		0.2	
	14-067	細江中央分団	コミュニティ		0.3	
	03-012	みをつくし文化センター	地域		0.3	
	04-007	国民宿舎奥浜名湖	広域		0.3	
	08-053	中央幼稚園	生活		0.3	
	01-017	北行政センター	地域		0.4	
	09-006	細江健康センター	地域		0.4	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	18-040	施設コード	01370	所管課	本庁	危機管理監危機管理課
	施設名	上町地区防災倉庫			所管課	施設	浜名区・北行政センター
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		広域防災倉庫として、半径4km範囲程度の避難所の防災倉庫に入りきらない資機材や備蓄品の保管					
		主な業務内容	防災資機材、非常食等の搬入、搬出及び点検等				
		主な利用者	北行政センター職員、危機管理課職員、地区防災班員				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		大規模地震発生の危険性があり、必要性は高い。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		大規模地震発生の危険性があり、必要性は高い。				
	特記事項		地震のみならず、風水害発生時にも使用する。				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
—			2022	—	—	—	
—			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化により修繕、建替え等が必要となる。					
	対応策	予算取りまとめ課と調整し、修繕等の対応を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	38	38	38	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。								

リストNo		18-041	施設コード	02930	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		本陣前公園倉庫			
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀763-1			
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課		課長名	小林 正人
	施設	浜名区・北行政センター		課長名	堤 信弘
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		防災資機材、非常食等の保管			
主な利用者		北行政センター職員、危機管理課職員、地区防災班員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物 情報	総延床面積	60.00	土 地 情 報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2002/4/1			
	経過年数(主要建物)	22		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)			
用途地域		近隣商業地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費 (千円)	計	
設置事業費		3,600	—	3,600	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	3,600	—	3,600	
特記事項	—				



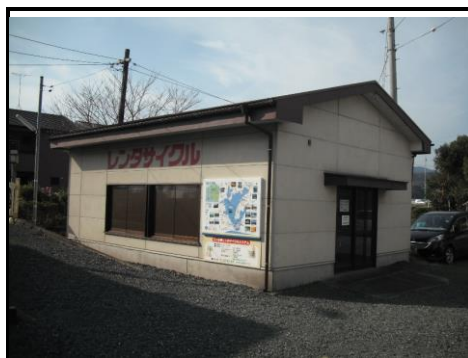
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	420	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	420	0
行政コスト(BーA)		0	420	0
収支前年比		0.00	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	04-007	国民宿舎奥浜名湖	広域		0.2	
	04-021	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館	地域		0.2	
	03-012	みをつくし文化センター	地域		0.3	
	06-015	細江図書館	地域		0.3	
	10-014	細江介護予防センター	地域		0.3	
	04-024	気賀関所	地域		0.3	
	09-006	細江健康センター	地域		0.3	
	01-017	北行政センター	地域		0.3	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	18-041	施設コード	02930	所管課	本庁	危機管理監危機管理課		
	施設名	本陣前公園倉庫			所管課	施設	浜名区・北行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害を生き残る							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防災資機材、非常食等の保管							
		主な業務内容	防災資機材、非常食等の搬入、搬出及び点検等						
		主な利用者	北行政センター職員、危機管理課職員、地区防災班員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	大規模地震発生の危険性があり、必要性は高い。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	大規模地震発生の危険性があり、必要性は高い。							
	特記事項	地震のみならず、風水害発生時にも使用する。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業②		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化により修繕、建替え等が必要となる。							
	対応策	予算取りまとめ課と調整し、修繕等の対応を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	7,000	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。								

リストNo		18-042	施設コード	00966	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		三ヶ日駅前レンタサイクル庫			
所在(町名・番地)		浜名区三ヶ日町三ヶ日914-8			
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		課長名	須藤 俊英
	施設	浜名区・北行政センター		課長名	堤 信弘
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		ゆーりんの自転車を管理			
主な利用者		一般市民及び観光客等			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00～16:00			
建物情報	総延床面積	39.74	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1990/3/20			
	経過年数(主要建物)	34		代表地目(現況地目)	
用途地域		近隣商業地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	0	0	0
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	0	0	0
行政コスト（B－A）		0	0	0
収支前年比		—	—	—
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	18-065	旧三ヶ日保健センター別館	地域	0.5		
	18-006	三ヶ日資材倉庫	地域	0.7		
その他の分類	08-020	三ヶ日保育園	生活	0.3		
	03-013	三ヶ日文化ホール	地域	0.4		
	01-018	三ヶ日支所	地域	0.4		
	26-019	三ヶ日浄化センター	—	0.5		
	14-020	北消防署三ヶ日出張所	地域	0.5		
	14-081	三ヶ日第1分団	コミュニティ	0.5		
	13-055	小深田団地	地域	0.6		
	15-130	三ヶ日中学校	生活	0.7		
施設周辺地図情報						
						

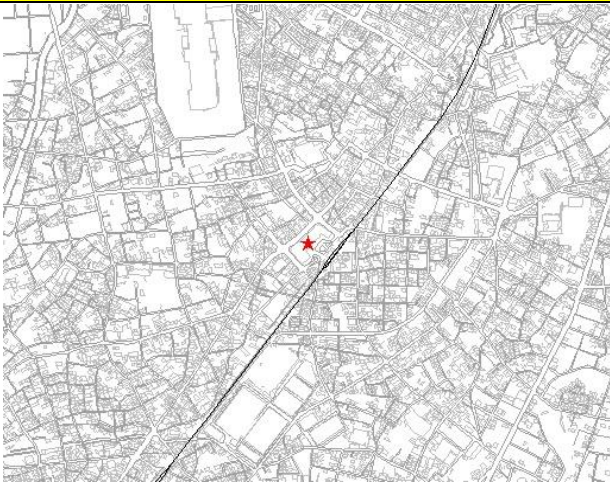
基本情報	リストNo	18-042	施設コード	00966	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	ミヶ日駅前レンタサイクル庫			所管課	施設	浜名区・北行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		ゆーりんの自転車を管理							
		主な業務内容	ゆーりんの自転車を管理						
		主な利用者	一般市民及び観光客等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も一定の利用者が確保されていくものとする。							
	特記事項	特になし							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築物の建具や設備は経年劣化が進んでいる。							
	対応策	施設の保守点検により長寿命化に向けた取り組みや計画的な維持管理をしていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	自転車の貸し出し、保管等については、地元観光協会で行っているため、施設の管理運営委託等も検討していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	民間移管	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	地元観光協会等へ施設の管理等を含めて委託を検討していく。								

リストNo		18-044	施設コード	02614	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		浜北地域防災倉庫			
所在(町名・番地)		浜名区西美蘭			
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課		課長名	小林 正人
	施設	浜名区・区振興課		課長名	金原 由直
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		防災資機材、非常食等の保管			
主な利用者		浜名区役所職員、危機管理課職員、地区防災班員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	603.92	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1st値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	-			
	建築年月日(主要建物)	1998/1/27			
	経過年数(主要建物)	26		うち借地面積	0.00
用途地域		第二種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	1,933	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	1,933	0
行政コスト(BーA)		0	1,933	0
収支前年比		0.00	—	0.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,828	3,828	3,828
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物		その他
	0	22,348		—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	18-008	浜北防災センター	地域		0.6	
その他の分類	03-015	なゆた・浜北(浜名区役所部分以外)	地域		0.0	
	01-021	浜名区役所	地域		0.0	
	03-005	浜北文化センター	市域		0.3	
	14-023	浜北消防署	地域		0.6	
	05-020	浜北体育館	地域		0.7	
	14-085	浜名分団小松	コミュニティ		0.8	
	15-081	北浜小学校	生活		0.8	
	15-139	北浜中学校	生活		0.9	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	18-044	施設コード	02614	所管課	本庁	危機管理監危機管理課		
	施設名	浜北地域防災倉庫			所管課	施設	浜名区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防災資機材、非常食等の保管							
		主な業務内容	防災資機材、非常食等の搬入、搬出及び点検等						
		主な利用者	浜名区役所職員、危機管理課職員、地区防災班員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	東日本大震災・熊本地震の発生により防災意識は高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	南海トラフ大地震の発生が想定される							
	特記事項	地震以外にも風水害の際にも活用することがある							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
		事業②	—		2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化が進んでいる施設があり、適切な修繕や改築が必要である。							
	対応策	修繕及び改築を計画的に実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	3,201	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。								

リストNo		18-045	施設コード	03195	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		旧浜北区水防倉庫			
所在(町名・番地)		浜名区上島			
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	土木部河川課		課長名	中津川 英彦
	施設	土木部河川課		課長名	中津川 英彦
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をすることにより、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者		浜北区内の水防団員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	134.38	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	木造			
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1992/3/20			
	経過年数(主要建物)	32		代表地目(現況地目)	
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	107	0	590
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	107	0	590
行政コスト(B-A)		107	0	590
収支前年比		—	0.00	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		25	25	25
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	303	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	18-069	旧鹿島保育園	地域		0.4	
その他の分類	15-144	清竜中学校	生活		0.3	
	07-066	天竜児童館	生活		0.3	
	14-095	天竜第3分団鹿島	コミュニティ		0.4	
	08-071	上島幼稚園	生活		0.6	
	04-044	田代家住宅	文化財		0.7	
	03-016	天竜壬生ホール	地域		0.9	
	17-011	鳥羽山公園	地域		1.0	
	14-094	天竜第1分団城下	コミュニティ		1.2	
施設周辺地図情報						

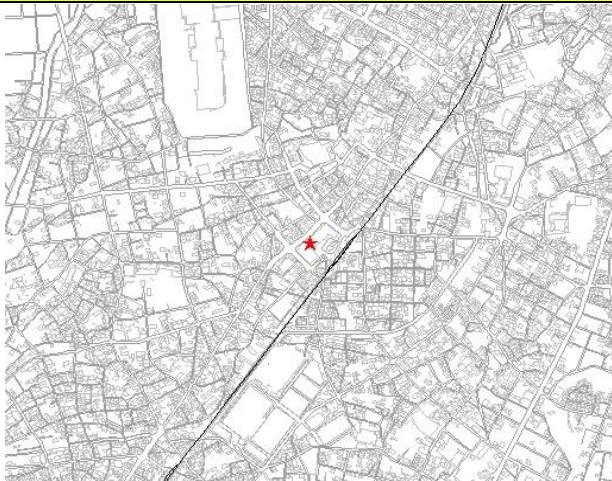
基本情報	リストNo	18-045	施設コード	03195	所管課	本庁	土木部河川課
	施設名	旧浜北区水防倉庫			施設	土木部河川課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	防災体制の強化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をすることにより、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。					
		主な業務内容	大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をする。				
		主な利用者	浜北区内の水防団員				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	台風の大規模化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会的にニーズは高まっている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となると予想される。					
	特記事項	緊急時に備え、施設の維持管理を続ける必要がある。					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
事業②		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化が進んでおり、今後も継続した維持管理が必要である。					
	対応策	施設の適正な維持、管理、修繕を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民生活導入	なし						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	796	0	4,391	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設等への統廃合や複合化を検討する。									

リストNo		18-046	施設コード	02415	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		浜北夜間照明体育器具庫			
所在(町名・番地)		浜名区内5か所			
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部スポーツ振興課		課長名	松野 英男
	施設	浜名区・まちづくり推進課		課長名	山本 佳弘
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		整備用具及び資材の保管			
主な利用者		グラウンド利用者			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物 情報	総延床面積	16.50	土 地 情 報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	スチール造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1981/3/31			
	経過年数(主要建物)	43		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)			
用途地域		第二種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		626	—	626	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	626	—	626	
特記事項	所在場所: 北浜東部中学校、北浜中学校、亀玉中学校、浜北北部中学校、浜名中学校				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	18-008	浜北防災センター	地域		0.7	
その他の分類	03-015	なゆた・浜北(浜名区役所部分以外)	地域		0.0	
	01-021	浜名区役所	地域		0.0	
	03-005	浜北文化センター	市域		0.3	
	14-023	浜北消防署	地域		0.7	
	05-020	浜北体育館	地域		0.7	
	14-085	浜名分団小松	コミュニティ		0.8	
	15-081	北浜小学校	生活		0.8	
	15-139	北浜中学校	生活		0.9	
施設周辺地図情報						
						

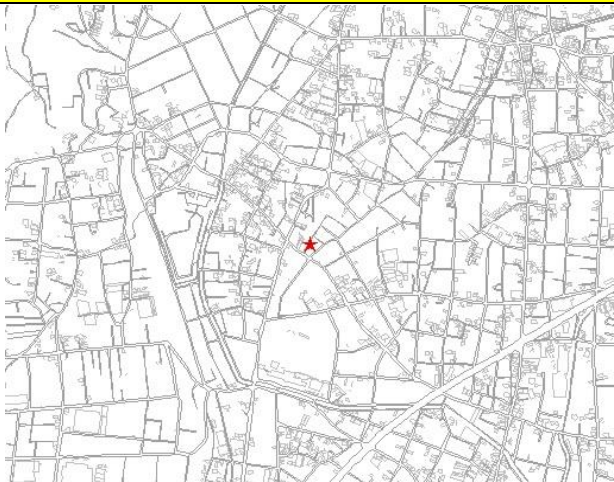
基本情報	リストNo	18-046	施設コード	02415	所管課	本庁	市民部スポーツ振興課
	施設名	浜北夜間照明体育器具庫			施設	浜名区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	生涯スポーツを楽しむ機会の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		整備用具及び資材の保管					
		主な業務内容	資材の保管				
		主な利用者	グラウンド利用者				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用があり、引き続いての利用者ニーズの確保が必要				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	安定した利用者ニーズが見込まれる。				
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
	—	2021	—	—	—		
事業④	—	2023	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化が進んでいる。今後、利用者の安全確保のため、適切な維持管理を進めていく。					
	対応策	通常点検の中で故障箇所を早期に修繕するとともに、更新が必要な施設については、計画的に更新を進めていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。								

リストNo		18-047	施設コード		01357	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		建設機械格納庫				
所在(町名・番地)		浜名区宮口3931-2				
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域		
財産区分		普通財産		普通財産		その他
所管課	本庁	—			課長名	—
	施設	浜名区・区振興課			課長名	金原 由直
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		平成元年3月28日に浜松市浜名区宮口3931-2へ新築(鉄骨造、平屋建)し、平成10年4月23日に土木課から移管され普通財産となった。現在は区振興課からの有償貸付によって上下水道部が使用中。				
主な利用者		上下水道部				
運営形態		直営				
指定管理または包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	38.50		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1989/3/28				
	経過年数(主要建物)	35				
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	150	150	151
	収入計(A)	150	150	151
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		－150	－150	－151
収支前年比		100.00	99.34	99.34
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主 な 改 修 履 歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	13-069	法師軒団地	地域		0.9	
	03-056	焦玉協働センター	生活		1.3	
	17-009	万葉の森公園	地域		1.3	
	15-076	新原小学校	生活		1.4	
	07-060	新原スマイルクラブ	生活		1.4	
	24-043	下善排水機場	—		1.4	
	14-091	焦玉分団宮口	コミュニティ		1.4	
	08-062	宮口幼稚園	生活		1.5	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	18-047	施設コード	01357	所管課	本庁	—
	施設名	建設機械格納庫			施設	浜市区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	—					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		平成元年3月28日に浜松市浜市区宮口3931-2へ新築(鉄骨造、平屋建)し、平成10年4月23日に土木課から移管され普通財産となった。現在は区振興課からの有償貸付によって上下水道部が使用中。					
		主な業務内容	上水道建設機械格納庫				
		主な利用者	上下水道部				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	—				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	—					
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
—			2022	—	—	—	
—			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・上下水道部への移管(売却)。					
	対応策	・上下水道部への移管(売却)。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	~3,896	~3,896	~3,922	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には、必要性を検証し存廃も検討する。								

リストNo	18-048	施設コード	02610
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	天竜区防災倉庫		
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣		
利用者の圏域別分類等	小規模等	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人
	施設	天竜区・区振興課	課長名 森田 修
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	防災資機材、非常食等の保管		
主な利用者	天竜区役所・水窪支所・佐久間支所職員、危機管理課職員、地区防災班員		
運営形態	直営		
指定管理または 包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	169.63	土地情報
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2014/2/6	
	経過年数(主要建物)	10	
用途地域		市街化調整区域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		374	395	400
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	5,104	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別 距離(km)
	18-069	旧鹿島保育園	地域 1.3
	18-010	天竜防災センター	地域 1.6
その他の分類	03-016	天竜壬生ホール	地域 0.0
	14-094	天竜第1分団城下	コミュニティ 0.6
	03-058	二俣ふれあいセンター	生活 0.7
	15-096	二俣小学校	生活 0.7
	07-067	ふたまた児童クラブ	生活 0.7
	04-044	田代家住宅	文化財 0.8
	04-012	秋野不矩美術館	市域 0.8
	26-033	阿蔵中継ポンプ場	— 0.8



基本情報	リストNo	18-048	施設コード	02610	所管課	本庁	危機管理監危機管理課		
	施設名	天竜区防災倉庫			所管課	施設	天竜区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防災資機材、非常食等の保管							
		主な業務内容	防災資機材、非常食等の搬入、搬出及び点検等						
		主な利用者	天竜区役所・水窪支所・佐久間支所職員、危機管理課職員、地区防災班員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	—						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	—							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
		事業②	—	2023	—	—	—	—	
—			2022	—	—	—	—		
—			2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	23棟の防災倉庫があり、建設時期・構造は倉庫により異なっているため、今後も継続した維持管理が必要。							
	対応策	維持管理の継続。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。									

リストNo		18-049	施設コード		01514	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		天竜区水防倉庫				
所在(町名・番地)		天竜区二俣町鹿島545-1				
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域		
財産区分		行政財産	公用財産		その他施設	
所管課	本庁	土木部天竜土木整備事務所			課長名	毛利 健太郎
	施設	土木部天竜土木整備事務所			課長名	毛利 健太郎
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		水防用資材保管倉庫				
主な利用者		市職員、消防団				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	182.60		土地情報	土地面積	636.37
	構造(主要建物)	木造			うち所有面積	230.67
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	405.70
	建築年月日(主要建物)	1983/10/4				
	経過年数(主要建物)	40			代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	18	14	17
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	18	14	17
行政コスト(B-A)		18	14	17
収支前年比		128.57	82.35	5.88
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		129	133	133
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	3,852	95	—	

年度		内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な 改修 履歴						
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	18-069	旧鹿島保育園	地域	0.4		
そ の 他 の 分 類	14-095	天竜第3分団鹿島	コミュニティ	0.0		
	15-144	清竜中学校	生活	0.2		
	07-066	天竜児童館	生活	0.3		
	04-044	田代家住宅	文化財	0.6		
	17-011	鳥羽山公園	地域	0.8		
	08-071	上島幼稚園	生活	1.0		
	03-016	天竜壬生ホール	地域	1.2		
	14-094	天竜第1分団城下	コミュニティ	1.2		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	18-049	施設コード	01514	所管課	本庁	土木部天竜土木整備事務所		
	施設名	天竜区水防倉庫			施設	土木部天竜土木整備事務所			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	防災体制の強化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		水防用資材保管倉庫							
		主な業務内容	天竜区内の水防用資材の保管						
		主な利用者	市職員、消防団						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	異常気象が多く、防災意識は高い。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	集中豪雨の増加による河川災害が予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況			
		事業①	—	2023	—	のべ募集人員	参加者数		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
2021				—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	99	77	93	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設等への統廃合や複合化を検討する。								

リストNo		18-050	施設コード	02605	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		佐久間防災倉庫			
所在(町名・番地)		天竜区佐久間町中部			
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課		課長名	小林 正人
	施設	天竜区・区振興課		課長名	森田 修
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		広域防災倉庫として、半径4km範囲程度の避難所の防災倉庫に入りきらない資機材や備蓄品の保管			
主な利用者		天竜区・佐久間支所職員、危機管理課職員、地区防災班員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	44.00	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1994/4/1			
	経過年数(主要建物)	30		代表地目(現況地目)	
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		90	90	90
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	117	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	15-145	佐久間中学校	生活		0.4	
	02-011	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)	地域		0.5	
	02-002	水巻寮教職員住宅	地域		0.6	
	02-016	中部医師住宅	地域		0.6	
	14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ		0.7	
	02-012	平沢医療職員等住宅	地域		0.7	
	02-017	平沢医師住宅	地域		0.7	
	13-087	平沢団地	地域		0.7	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	18-050	施設コード	02605	所管課	本庁	危機管理監危機管理課		
	施設名	佐久間防災倉庫			所管課	施設	天竜区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		広域防災倉庫として、半径4km範囲程度の避難所の防災倉庫に入りきらない資機材や備蓄品の保管							
		主な業務内容	防災資機材、非常食等の搬入、搬出及び点検等						
		主な利用者	天竜区・佐久間支所職員、危機管理課職員、地区防災班員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	—						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	—							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
		事業②	—	2023	—	—	—	—	
—			2022	—	—	—	—		
—			2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。								

リストNo		18-051	施設コード		01507	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		水窪防災倉庫				
所在(町名・番地)		天竜区水窪町地頭方1022-5				
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設
所管課	本庁	危機管理監危機管理課			課長名	小林 正人
	施設	天竜区・区振興課			課長名	森田 修
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		広域防災倉庫として、半径4km範囲程度の避難所の防災倉庫に入りきらない資機材や備蓄品の保管				
主な利用者		天竜区・水窪支所職員、危機管理課職員、地区防災班員				
運営形態		直営				
指定管理または包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	85.50		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—				
	耐震工事(主要建物)	-				
	建築年月日(主要建物)	1980/3/30				
	経過年数(主要建物)	44			うち借地面積	0.00
				代表地目(現況地目)		
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	0	0	0
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	3	4	3
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	3	4	3
行政コスト（B－A）		3	4	3
収支前年比		75.00	133.33	100.00
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度		内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な 改修 履歴						
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
そ の 他 の 分 類	14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ	0.4		
	04-027	水窪民俗資料館	地域	0.4		
	04-039	民俗資料館旧久保邸	文化財	0.4		
	05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等	0.5		
	04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	0.5		
	25-025	向島浄水場	—	0.6		
	14-146	水窪第2分団第5部竜戸詰所	コミュニティ	0.6		
	05-037	水窪小畑プール管理棟	コミュニティ	0.6		
施設周辺地図情報						

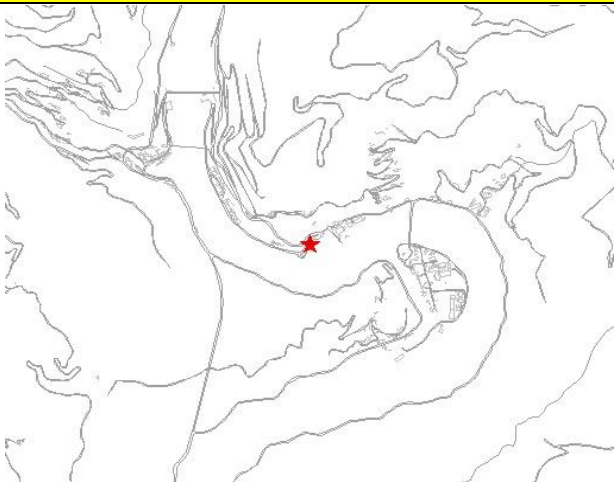
基本情報	リストNo	18-051	施設コード	01507	所管課	本庁	危機管理監危機管理課		
	施設名	水窪防災倉庫			施設	天竜区・区振興課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		広域防災倉庫として、半径4km範囲程度の避難所の防災倉庫に入りきらない資機材や備蓄品の保管							
		主な業務内容	防災資機材、非常食等の搬入、搬出及び点検等						
		主な利用者	天竜区・水窪支所職員、危機管理課職員、地区防災班員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	—						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	—							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	35	47	35	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。								

リストNo		18-052	施設コード		01718	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		龍山支所テント保管庫				
所在(町名・番地)		天竜区龍山町戸倉421-3				
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	—			課長名	—
	施設	天竜区・龍山支所			課長名	藤澤 典広
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		イベントで使用するテントの保管のため。				
主な利用者		市民(龍山地区)				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物 情報	総延床面積	33.12	土 地 情 報	土地面積	0.00	
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—				うち借地面積
	建築年月日(主要建物)	2004/1/1				
	経過年数(主要建物)	20				
				代表地目(現況地目)		
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
設置事業費		3,880	—	3,880		
財源	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	3,880	—	3,880		
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	18-013	旧龍山郷土文化保存伝習施設	地域		0.2	
	18-074	旧龍山第一小学校	地域		1.0	
その他の分類	05-047	龍山総合運動場管理棟	小規模等		0.1	
	05-035	龍山健康増進センター	生活		0.3	
	14-129	佐久間第2分団大嶺車庫	コミュニティ		0.6	
	22-010	龍山歯科診療所	生活		0.9	
	01-026	龍山支所	地域		0.9	
	13-089	戸倉団地定住促進住宅	地域		0.9	
	13-088	戸倉団地特定公共賃貸住宅	地域		0.9	
13-080	戸倉団地	地域		1.0		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	18-052	施設コード	01718	所管課	本庁	—	
	施設名	龍山支所テント保管庫			施設	天竜区・龍山支所		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	ファシリティマネジメントの推進						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		イベントで使用するテントの保管のため。						
		主な業務内容	テントの保管					
		主な利用者	市民(龍山地区)					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	設置当初より継続してイベント等を開催しておりニーズの減少はない。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後もイベント等でテントは必要であるため保管庫として必要である。						
	特記事項	—						
	主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
							のべ募集人員	参加者数
					2023	—	—	—
					2022	—	—	—
		事業②			2021	—	—	—
					2023	—	—	—
					2022	—	—	—
事業③				2021	—	—	—	
				2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
事業④				2021	—	—	—	
				2023	—	—	—	
			2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成16年に建設されているが、ハード面に問題ない。今後も龍山地区のテント保管庫として利用を継続予定。						
	対応策	テント保管庫として今後も適切な維持管理に努める。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価				(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価			
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)				
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には他の施設への統廃合や複合化を検討する。							

リストNo		18-053	施設コード		05068	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		消防器具収納庫				
所在(町名・番地)		中央区北寺島町207-18				
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公用財産		その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課			課長名	小林 正人
	施設	危機管理監危機管理課			課長名	小林 正人
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		浜松市が自主防災隊に貸与する可搬式動力ポンプの専用収納庫				
主な利用者		自主防災隊				
運営形態		直営				
指定管理または包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	11.88		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-				
	建築年月日(主要建物)	2015/11/30				
	経過年数(主要建物)	8			うち借地面積	0.00
				代表地目(現況地目)		
用途地域		第二種住居地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		495		—		495
財源	国・県	165		—		165
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	330		—		330
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	0.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		51	51	51
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数		—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	820	—	

年度		内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な 改修 履歴						
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	18-055	山下町書庫	地域		0.8	
	18-066	旧保健所	地域		1.4	
	18-002	北寺島倉庫	地域		1.6	
そ の 他 の 分 類	01-001	本庁舎	市域		0.1	
	04-001	浜松城公園天守閣	広域		0.1	
	04-009	美術館	市域		0.2	
	06-001	中央図書館	市域		0.2	
	15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活		0.3	
	14-029	浜松第1分団	コミュニティ		0.4	
	01-002	元目分庁舎	市域		0.4	
	07-073	中部学園放課後児童会	生活		0.4	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	18-053	施設コード	05068	所管課	本庁	危機管理監危機管理課		
	施設名	消防器具収納庫			施設	危機管理監危機管理課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		浜松市が自主防災隊に貸与する可搬式動力ポンプの専用収納庫							
		主な業務内容	可搬式動力ポンプ一式の保管						
		主な利用者	自主防災隊						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	大規模地震に備えて自主防災隊が運用している						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	南海トラフ巨大地震の発生が想定される中、持続していくことが予測される							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現在は、「浜松市自主防災組織可搬式動力消防ポンプ貸与基準」により、消防器具収納庫を必要とする自主防災隊については可搬ポンプ本体と合わせて貸与しているが、更新(建替え)、修繕を含め、自主防災隊の所有物として維持管理できるよう、貸与基準の見直しを検討していく必要がある。							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分箱毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には他の施設への統廃合や複合化を検討する。								

リストNo		18-054	施設コード	05078	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		金指駅前レンタサイクル庫			
所在(町名・番地)		浜名区引佐町金指1033			
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		課長名	須藤 俊英
	施設	浜名区・北行政センター		課長名	堤 信弘
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		ゆーりんの自転車を管理			
主な利用者		一般市民及び観光客等			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00～16:00			
建物情報	総延床面積	9.30	土地情報	土地面積	20.25
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造		うち所有面積	20.25
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(15値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2017/3/15			
	経過年数(主要建物)	7			
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		1,059	—	1,059	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	1,059	—	1,059	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
	行政コスト(B-A)	0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		44	44	44
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	36	748	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	26-020	金指汚水中継ポンプ場	—		0.3	
	07-054	金指放課後児童会	生活		0.4	
	13-049	金指団地	地域		0.4	
	25-005	金指西水源	—		0.5	
	15-060	金指小学校	生活		0.5	
	08-058	金指幼稚園	生活		0.7	
	08-054	中川幼稚園	生活		0.9	
	13-052	坂田団地	地域		0.9	
施設周辺地図情報						

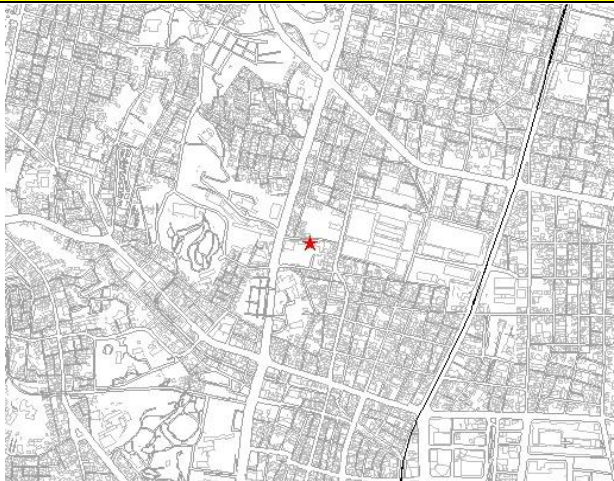
基本情報	リストNo	18-054	施設コード	05078	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	金指駅前レンタサイクル庫			所管課	施設	浜名区・北行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		ゆーりんの自転車を管理							
		主な業務内容	ゆーりんの自転車を管理						
		主な利用者	一般市民及び観光客等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も一定の利用者が確保されていくものとする。							
	特記事項	特になし							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—		2023	—	—	—
—				2022	—	—	—		
—				2021	—	—	—		
事業②			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業③			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業④			—		2023	—	—	—	
	—		2022	—	—	—			
	—		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	なし							
	対応策	施設の保守点検により長寿命化に向けた取り組みや計画的な維持管理をしていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	自転車の貸し出し、保管等については、地元鉄道会社で行っているため、施設の管理運営委託等も検討していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	民間移管	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	天竜浜名湖鉄道へ施設の管理等を含めて委託を検討していく。								

リストNo		18-055	施設コード		05091	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		山下町書庫				
所在(町名・番地)		中央区山下町192				
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設
所管課	本庁	財務部アセットマネジメント推進課 庁舎・資産管理担当			課長名	井村 正志
	施設	財務部アセットマネジメント推進課 庁舎・資産管理担当			課長名	井村 正志
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		本庁組織の書類を収納する書庫				
主な利用者		職員				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	1,368.00		土地情報	土地面積	1,323.27
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	1,323.27
	地上階数(主要建物)	3				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.77				
	耐震工事(主要建物)	有			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1964/3/1				
	経過年数(主要建物)	60			代表地目(現況地目)	学校用地
用途地域		近隣商業地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	・人件費、電話料は、本庁舎に含まれている。					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	86	90	90
	維持補修費(修繕費)	0	180	2,321
	物件費(光熱水費)	15	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	101	270	2,411
	行政コスト(B-A)	101	270	2,411
収支前年比		37.41	11.20	102.81
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物		その他
	113,996	0		—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	18-002	北寺島倉庫	地域	1.8		
その他の分類	16-014	防災学習センター	市域	0.0		
	14-034	浜松第6分団	コミュニティ	0.1		
	14-002	消防局・中消防署	市域	0.4		
	01-002	元目分庁舎	市域	0.5		
	03-006	勤労会館(Uホール)	地域	0.6		
	04-015	茶室「松韻亭」	地域	0.7		
	07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.8		
	21-001	浜松斎場	地域	0.8		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	18-055	施設コード	05091	所管課	本庁	財務部アセットマネジメント推進課 庁舎・資産管理担当		
	施設名	山下町書庫			所管課	施設	財務部アセットマネジメント推進課 庁舎・資産管理担当		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	ファシリティマネジメントの推進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		本庁組織の書類を収納する書庫							
		主な業務内容	書庫						
		主な利用者	職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	ニーズはあるが郊外施設で代用可能						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	ニーズはある。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
		事業②	—		2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建物の老朽化などがあり、郊外施設で代用可能か検討が必要。							
	対応策	改修、移転等を含めて、今後検討する。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	○	空いたスペースへ移転			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	74	197	1,762	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
当面適切な維持管理を行うとともに、統廃合を検討する。									

リストNo	18-056	施設コード	05351		
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫				
施設名	北分区救護用倉庫				
所在(町名・番地)	浜名区細江町気賀304				
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	健康福祉部浜名福祉事業所・社会福祉課	課長名 北村 聡		
	施設	健康福祉部浜名福祉事業所・社会福祉課	課長名 北村 聡		
設置根拠(法)	—				
条例	—				
設置目的	災害救護活動の充実を図るため				
主な利用者	浜名福祉事業所社会福祉課(北)				
運営形態	直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	—				
建物情報	総延床面積	4.71	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2019/1/22			
	経過年数(主要建物)	5		代表地目(現況地目)	
用途地域	第二種住居地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		9	9	9
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
	有形固定資産(千円)			
B S 情報	土地	0	建物	174
				その他

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	08-053	中央幼稚園	生活	0.1
	09-006	細江健康センター	地域	0.1
	01-017	北行政センター	地域	0.1
	03-012	みをつくし文化センター	地域	0.2
	04-024	気賀関所	地域	0.2
	06-015	細江図書館	地域	0.2
	04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.2
	10-014	細江介護予防センター	地域	0.3



基本情報	リストNo	18-056	施設コード	05351	所管課	本庁	健康福祉部浜名福祉事業所・社会福祉課		
	施設名	北分区救護用倉庫			所管課	施設	健康福祉部浜名福祉事業所・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		災害救護活動の充実を図るため							
		主な業務内容	救護用資材の維持管理						
		主な利用者	浜名福祉事業所社会福祉課(北)						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用があり、需要は確保されている						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も一定の利用が見込まれる						
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業②		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	2019年に新設され不具合等ないため、特になし							
	対応策	特になし							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。								

リストNo		18-057		施設コード		02048		
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫						
施設名		都田分団第一水防倉庫						
所在(町名・番地)		浜名区都田町5563-16						
利用者の圏域別分類等		小規模等			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設		
所管課	本庁	土木部河川課			課長名	中津川 英彦		
	施設	土木部河川課			課長名	中津川 英彦		
設置根拠(法)		—						
条例		—						
設置目的		大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をすることにより、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
主な利用者		北区内の水防団員						
運営形態		直営						
指定管理または 包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	51.98		土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造				うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積		0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	1981/3/23						
	経過年数(主要建物)	43			代表地目(現況地目)			
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	0	0	0
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	8	16	8
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	8	16	8
行政コスト（B－A）		8	16	8
収支前年比		50.00	200.00	—
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	03-051	都田協働センター	生活		0.0	
	15-063	都田小学校	生活		0.2	
	14-066	浜松第31分団	コミュニティ		0.2	
	15-132	都田中学校	生活		0.6	
	26-026	都田地区農業集落排水処理施設	—		1.3	
	26-034	都田中継ポンプ場	—		1.4	
	17-007	都田総合公園	地域		1.5	
	24-032	吉影排水機場	—		1.7	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	18-057	施設コード	02048	所管課	本庁	土木部河川課
	施設名	都田分団第一水防倉庫			施設	土木部河川課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	防災体制の強化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をすることにより、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。					
		主な業務内容	大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をする。				
		主な利用者	北区内の水防団員				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	台風の大規模化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会的にニーズは高まっている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となると予想される。					
	特記事項	緊急時に備え、施設の維持管理を続ける必要がある。					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
事業②		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化が進んでおり、今後も継続した維持管理が必要である。					
	対応策	施設の適正な維持、管理、修繕を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	なし						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	154	308	154	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分庫毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設等への統廃合や複合化を検討する。									

リストNo		18-058	施設コード		04539		
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫					
施設名		旧川名幼稚園					
所在(町名・番地)		浜名区引佐町川名888-5					
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域			
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設	
所管課	本庁	市民部文化財課			課長名	平田 隆	
	施設	市民部文化財課			課長名	平田 隆	
設置根拠(法)		—					
条例		—					
設置目的		浜松市内の遺跡から出土した遺物や文化財の保管					
主な利用者		—					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		—					
建物 情報	総延床面積	201.00		土地 情報	土地面積		765.84
	構造(主要建物)	木造					
	地上階数(主要建物)	1			うち所有面積		765.84
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—					
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積		0.00
	建築年月日(主要建物)	1981/2/1					
	経過年数(主要建物)	43			代表地目(現況地目)		学校用地
	用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費 (千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	24	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	24	0	0
行政コスト(B-A)		24	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	6,571	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	14-076	引佐第3分団川名	コミュニティ		0.1	
	16-006	かわな野外活動センター	市域		1.1	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	18-058	施設コード	04539	所管課	本庁	市民部文化財課	
	施設名	旧川名幼稚園			施設	市民部文化財課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全活用						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		浜松市内の遺跡から出土した遺物や文化財の保管						
		主な業務内容	文化財収蔵業務					
		主な利用者	—					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			設置当初より収蔵点数は増加している			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			収蔵量はほぼ満杯であり、新たな収蔵物の搬入は想定しない。			
	特記事項	—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
							のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—	—
			—	2022	—	—	—	—
			—	2021	—	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—	—
—			2022	—	—	—	—	
—			2021	—	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	—	
	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	洪川文化財収蔵庫を取得したことにより、当面の収蔵スペース不足は解消したが、出土品は発掘調査を実施することにより累積するため、いずれは収容容量は不足する。建物は築40年以上経過し、老朽化が進んでいる。						
	対応策	令和5年度に取得した洪川文化財収蔵庫を活用し、保管資料の収納計画(資料を重要度・活用頻度・材質でランク分け)を策定のうえ、資料の再配置を進めていく。建物の老朽化に対しては緊急性・必要性の高い箇所から修繕を行い、長寿命化を図っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	○	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	○	—		
		複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	119	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	近隣の倉庫等との統廃合を検討する。								

リストNo		18-059	施設コード	00571	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		旧南中学校(春野)			
所在(町名・番地)		天竜区春野町堀之内997-1			
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域	
財産区分		普通財産	普通財産	その他	
所管課	本庁	天竜区・区振興課		課長名	森田 修
	施設	天竜区・区振興課		課長名	森田 修
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		防災備蓄品等の保管(廃校舎の活用)			
主な利用者		市職員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	1,981.97	土地情報	土地面積	22,811.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	22,811.00
	地上階数(主要建物)	3			
	耐震性能(15値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1983/3/22			
	経過年数(主要建物)	41		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	38	51	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	38	51	0
	行政コスト(B-A)	38	51	0
収支前年比		74.51	—	—
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		5,602	5,602	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	166,540	24,956	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	13-073	若身団地	地域		0.1	
	02-015	犬居地区教職員住宅	地域		0.1	
	15-091	犬居小学校	生活		0.2	
	08-078	犬居幼稚園	生活		0.2	
	14-121	春野第1分団犬居	コミュニティ		0.4	
	25-028	旧若身簡易水道	—		0.7	
	03-020	春野ふれあい公園集会所	地域		0.8	
	14-123	春野第1分団西領家	コミュニティ		1.4	
施設周辺地図情報						

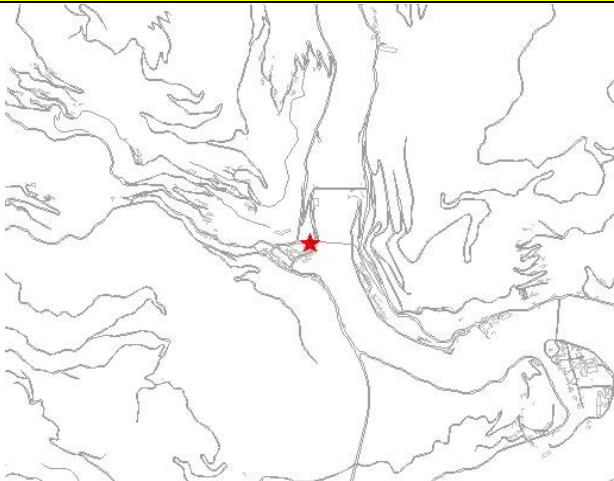
基本情報	リストNo	18-059	施設コード	00571	所管課	本庁	天竜区・区振興課		
	施設名	旧南中学校（春野）			施設	天竜区・区振興課			
	人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	ファシリティマネジメントの推進							
	設置の妥当性	設置目的（再掲）							
		防災備蓄品等の保管（廃校舎の活用）							
		主な業務内容	防災備蓄品等保管場所						
		主な利用者	市職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	減少していない						
	中長期（今後10年程度）のニーズ予測	防災備蓄品等保管場所は継続して必要							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数（2023）		年度	事業費（千円）	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等（ハード面から）									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	廃校舎を活用しており、現状重大な欠陥とまではいかないが、一部雨漏り箇所がある。築40年以上を経過しているため、今後は老朽化に伴い、更なる不具合箇所の発生が懸念される。							
	対応策	今後も維持管理をしながら継続使用していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積（円）	19	26	0	1人当たりのコスト（円）	—	—	—
	施設利用率（％）	—	—	—	1開館日当たりのコスト（円）	—	—	—
	1日当たり利用者（人）	—	—	—	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
	図書貸出率（％）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
	入居率（％）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—
	品質評価（横軸）／供給・財務評価（縦軸）				供給評価（横軸）／財務評価（縦軸）			
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況（耐震性、築年数等）による評価（横軸） ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価（横軸）		
参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めました。が、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。							

リストNo		18-060	施設コード		00667	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		旧診療所				
所在(町名・番地)		天竜区龍山町大嶺598-3				
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域		
財産区分		普通財産		普通財産		その他
所管課	本庁	—			課長名	—
	施設	天竜区・龍山支所			課長名	藤澤 典広
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		書庫として使用しているため。				
主な利用者		龍山支所職員				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	354.47		土地情報	土地面積	473.48
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	473.48
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1963/8/23				
	経過年数(主要建物)	60			代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	維持管理委託業務その他の設備保守(樹木管理委託)は、No.1-26龍山支所に含まれる。					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,525	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	18-074	旧龍山第一小学校	地域		0.2	
	18-013	旧龍山郷土文化保存伝習施設	地域		1.0	
その他の分類	22-010	龍山歯科診療所	生活		0.1	
	01-026	龍山支所	地域		0.1	
	14-129	佐久間第2分団大嶺車庫	コミュニティ		0.4	
	05-047	龍山総合運動場管理棟	小規模等		0.9	
	05-035	龍山健康増進センター	生活		1.0	
	09-011	龍山保健センター	地域		1.1	
	13-079	雲折団地	地域		1.4	
	13-088	戸倉団地特定公共賃貸住宅	地域		1.6	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	18-060	施設コード	00667	所管課	本庁	—
	施設名	旧診療所			施設	天竜区・龍山支所	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	—					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		書庫として使用しているため。					
		主な業務内容	書類の保管				
		主な利用者	龍山支所職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		継続して書庫として使用しており、ニーズの減少はない。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も書庫として必要である。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
—			2022	—	—	—	
—			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ハード面は特に問題ない。今後も書庫として利用を継続予定。					
	対応策	書庫として今後も適切な維持管理に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には他の施設等への統合や複合化を検討する。									